

Photo ふなばし



ロマンスプロムナードは、憩いの場所として市民の皆さんに親しまれています

とくしゅう
PART 2

緑とふれあいの空間
海老川
長津川
ロマンスプロムナード

MOVE

高瀬処理区など着々と 進む下水道整備事業

とくしゅう
PART 1

みんなで取り組む 地球にやさしいリサイクル

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信
- WE ARE IN FUNABASHI

まちなかの文化財／ふなばしの民話
市民ひとことインタビュー



船橋リサイクルセンター

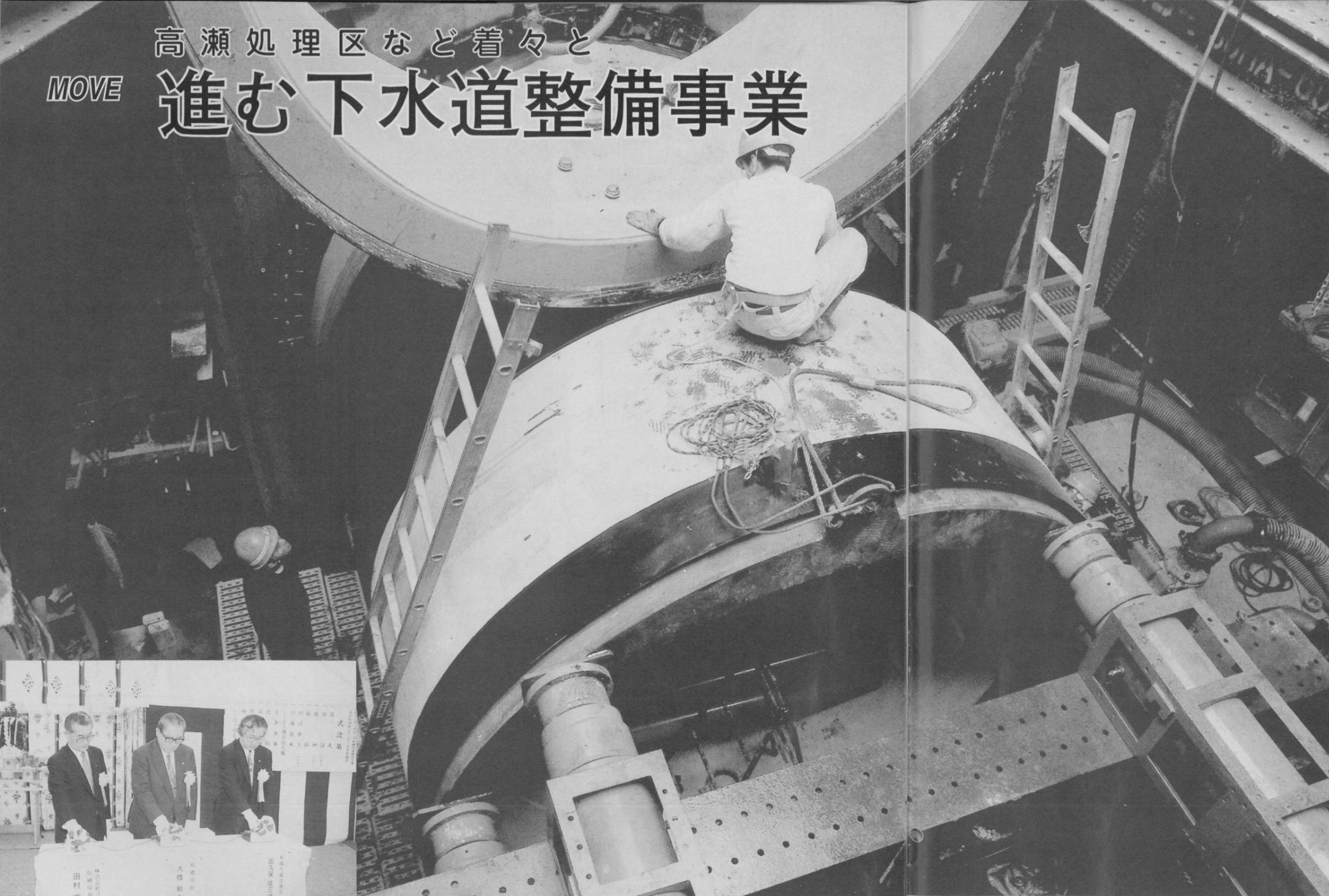
vol. 79

広報ふなばし写真版

5月号（隔月第4月曜日発行）

MOVE

高瀬処理区など着々と進む下水道整備事業

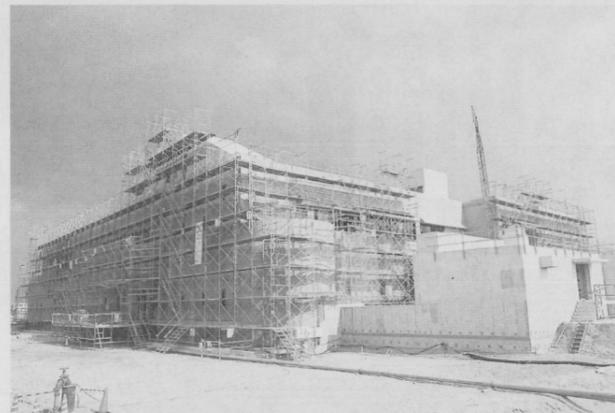


平成8年8月、大橋和夫市長(中央)や田久保捷三市議会議長(右)が出席して行われた三田幹線管渠建設工事の発進式

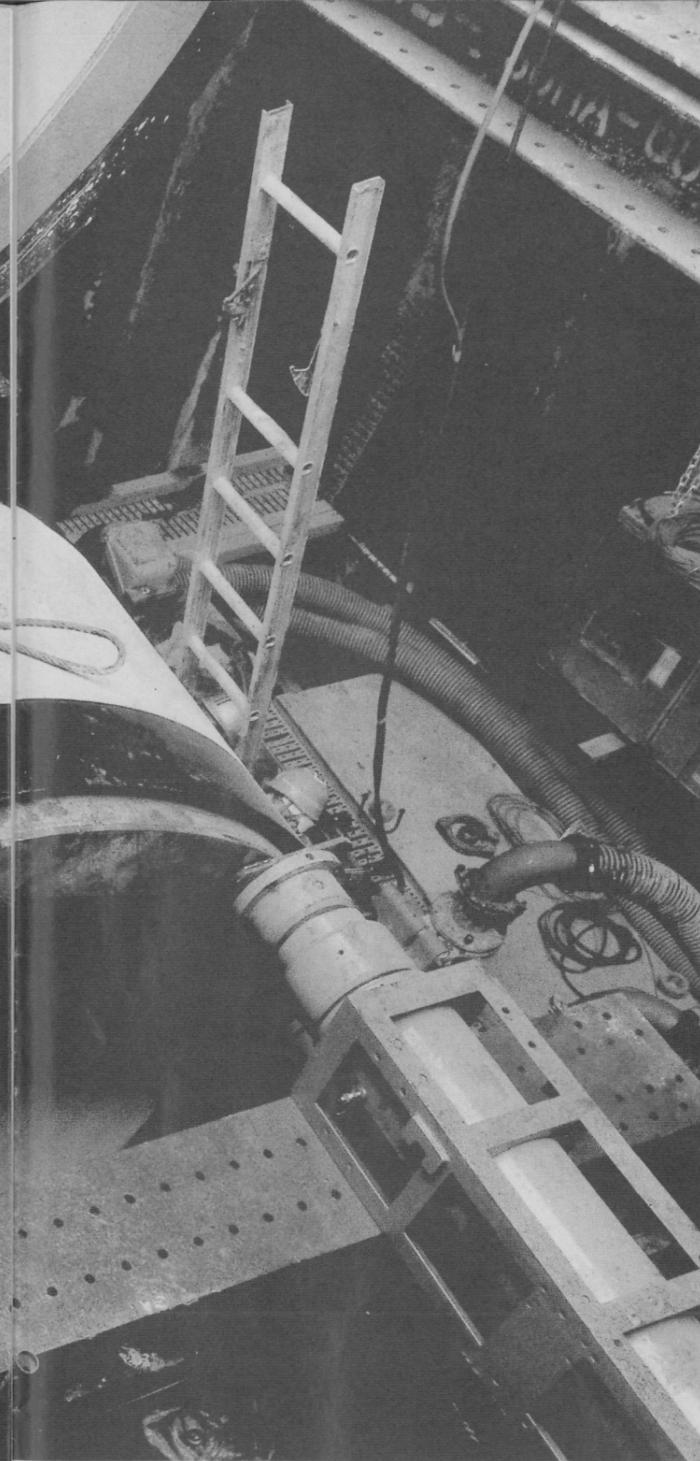
津田沼処理区の三田幹線管渠(下水管)建設工事。三山・田喜野井地区の都市型水害を



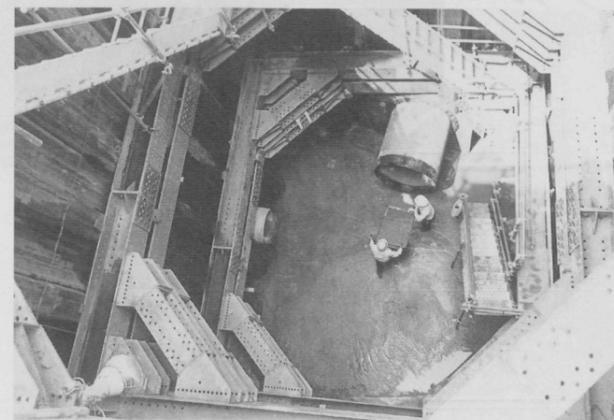
高瀬下水処理場につながる幹線管渠。内径5メートルは県内最大です



平成10年度末の一部利用開始を目指して工事が進む、高瀬下水処理場の沈砂池ポンプ棟



防ぐため、平成11年3月の完成を目指して工事を進めています



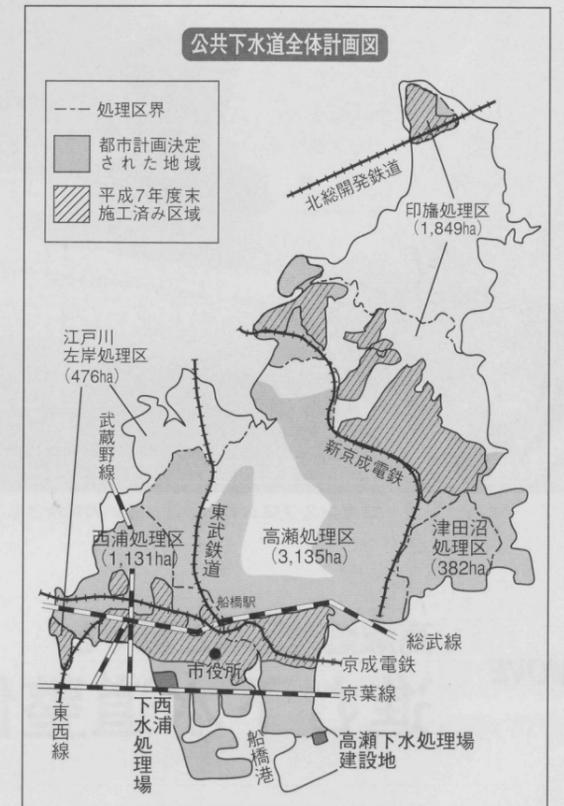
高瀬処理区では、JR船橋駅から東船橋駅までの北側で工事が進んでいます(長津幹線の立坑)

船橋市では、市域の約81パーセントを下水道整備区域とし、これを水系などから西浦、高瀬、津田沼、印旛、江戸川左岸の5処理区に分けて整備を進めています。

今年度の下水道整備事業では、西浦、津田沼及び印旛処理区で、下水道の利用区域を拡大するための整備を進めると同時に、すでに稼働している西浦下水処理場の処理能力の増設工事が始まります。

また、計画区域の45パーセントを占める高瀬処理区では、20万2000立方メートルの処理能力を持つ下水処理場の建設と、幹線管渠(下水管)や各家庭につながる枝線管渠の整備を急ピッチで進めています。平成10年度末の一部利用開始を目指しており、現在は、長津幹線管渠など、JR船橋駅から東船橋駅までの北側を中心に工事が行われています。

さらに、震災対策の目的で、県が整備する流域下水道(印旛・江戸川左岸)ネットワーク管を平常時に暫定利用するため、接続ルートの基本設計なども行います。



西浦下水処理場。1日あたりの処理能力を、4万8800立方メートルから6万1600立方メートルに高める増設工事が始まります

地球にやさしいリサイクル

みんなできり組む



ペットボトル専用の収集車で、週1回収集しています



ペットボトル以外のごみ（キャップや紙など）を取り除きます



1こん包に約300本のペットボトルが圧縮されます



市内の全公民館、出張所に、プレス付き収集容器が設置されています



市内24か所の酒店に収集容器を設置しました



化学繊維の原料として生まれ変わります

今年の4月から「容器包装リサイクル法」(通称)が施行されました。この法律は、家庭などからごみとして出される容器包装について、消費者、市、事業者がそれぞれの責任を分担し、一丸となってリサイクルに取り組むことを目的としています。

この法律で当面の収集対象となっているのは7品目。市では、これまでペットボトルを除く6品目について、すでに収集を行っています。特に、有価物の回収については早くから取り組み、市民の皆さんと協力して、全国平均を大きく上回るリサイクル率を実現しています。また、ペットボトルについても、市内のすべての公民館、出張所と、24か所の酒店に収集容器を設置し、収集が始まりました。市民が分別して出したごみを、市が収集し、事業者が引き取ってリサイクル。限りある資源を有効に活用し、地球にやさしいリサイクル型社会を実現するためには、それぞれの責任をしっかりと実行することが大切です。未来の子どもたちのためにも、みんなで力を合わせて、美しい地球を守りましょう。

ペットボトル

市内すべての公民館、出張所に、市内の民間企業が共同開発した、プレス付き収集容器を設置しました。また、24か所の酒店にも収集容器を設置し、週1回収集しています。市のリサイクルセンターに集められたペットボトルは、圧縮してこん包。事業者が引き取り、繊維製品やペットボトルなどの原料に再生されます。



リサイクルセンターに集められたピンは、そのまま利用できるものと、ピンなどの原料として再生されるもの(カレット)に分けられます



市内の空きカンは、リサイクルセンターに集められます

ビン・カン(資源ごみ)

空きビン、空きカンの回収は、週1回、ごみ収集ステーションで行われ、リサイクルセンターに集められます。

空きビンは、無色、茶色、その他の色に選別され、無色と茶色はガラスビンの原料となり、その他の色は建築資材などにリサイクルされます。

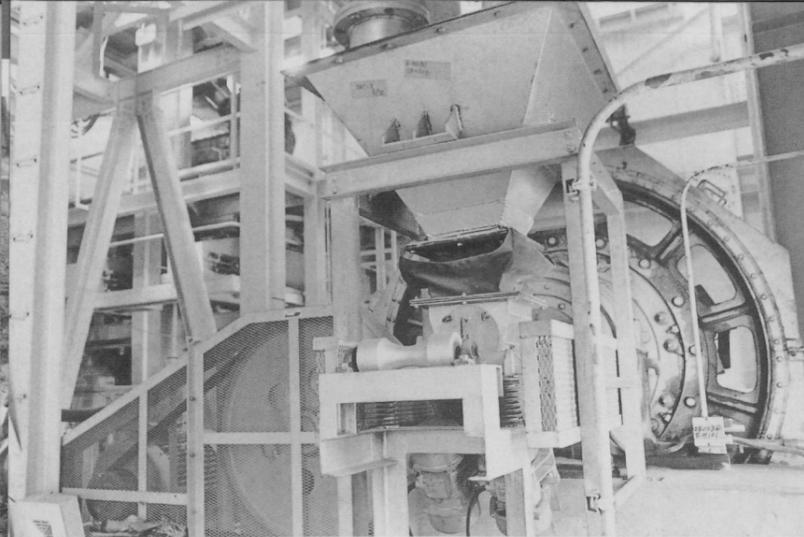
空きカンは、アルミとスチールに選別され、それぞれアルミ原料と製鉄原料に生まれ変わります。



空きカン以外のごみを取り除き、アルミカンとスチールカンに仕分けします



5 アルミとスチールに分けてプレスされた空きカンの山



ごみの燃えかす（セトモノや石など）を再利用する、焼却残渣リサイクルプラント



3種類の大きさに分けて製造され、コンクリート骨材などに利用されています



市内23区域すべてに有価物連絡会を組織しました



紙以外のものが混入していないか、重機を使って調べます



古新聞や雑誌を繊維状にするため、バルパーという大型のミキサーに投入します

市では、「自分のまちのごみは、自分のまちで再利用」を基本に、全国に先駆けた取り組みをしています。

ごみの焼却灰を利用した「透水性ブロック」の実用化に成功し、全国で初めて国の補助を受けて、本格的な生産工場が建設されることになりました。

このブロックは、水はけが良いので、自然にやさしく、都市型水害を防止する効果があります。

また、ごみを焼却したあとに残るセトモノや石などの燃えかすを加工して、コンクリート骨材を作る「焼却残渣リサイクルプラント」が、平成6年から稼働しています。この骨材は、すでに雨水浸透ますの埋め戻し材などとして、民間に流通しています。

透水性ブロックなど



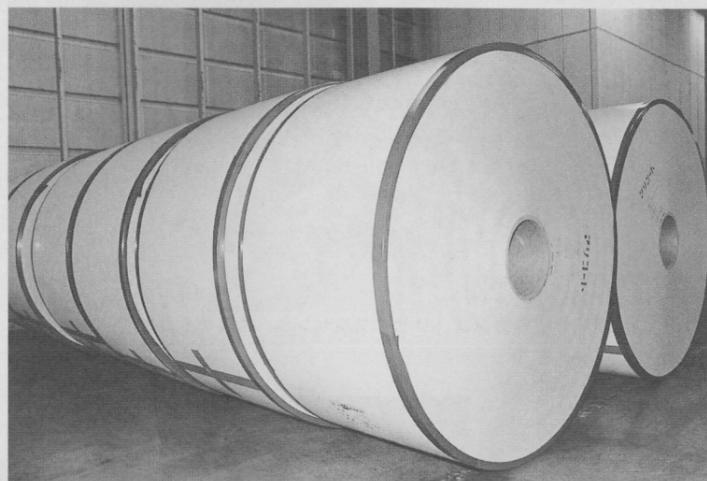
透水性ブロックは、アンデルセン公園にも使用されています▶

新聞・雑誌（有価物）

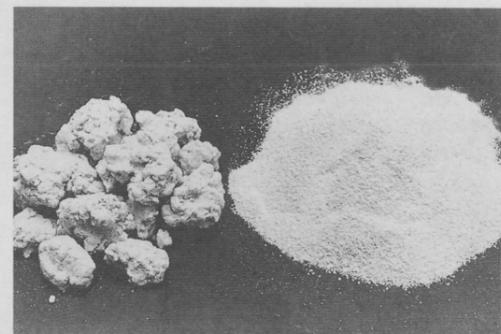
新聞、雑誌などの回収は、地域ごとに有価物連絡会を設置し、週1回収集ステーションで行っています。

市内23区域すべてに、連絡会ができたので、有価物の回収量は飛躍的に増加しました。

回収された有価物は、古新聞は新聞紙や週刊誌など、雑誌はボール紙や絵本など、紙パックはトイレレットペーパーなどにリサイクルされます。品目によって用途が異なるので、きちんと分けて出すことが大切です。



できあがった再生紙は、絵本やお菓子の箱、ボール紙などとして利用されます



冷えて固まれば石けんの出来上がり。粉状に砕いて使用します

廃食油

北部清掃工場の敷地内にある「せっけん塾」で、家庭で使い終わった廃食油を利用した石けんを作ることであります。

廃食油に、水と苛性ソーダを加えて加熱するもので、自然にやさしく、油汚れを落とすのに最適。関心のある方は、市環境保全課までお問い合わせください。

☎ 0474-362456



家庭で使い終わった食用油に、水と苛性ソーダを加えて加熱します



ごみの焼却灰を利用した、透水性ブロックの実験工場。実用化に成功し、全国で初めて国の補助を受けて、本格的な生産工場が建設されることになりました

緑とふれあいの空間

海老川
長津川

ロマンスプロムナード



海老川沿いに整備されたジョギングロードでは、市立船橋高校の陸上部をはじめ、たくさんのジョギング愛好者がさわやかな汗を流しています



桜の季節になると、海老川ジョギングロードは、散歩やお花見を楽しむ人たちににぎわいます



以前は、大雨のたびに氾濫し、周辺住民を悩ませていました(写真は昭和61年8月、本町4丁目付近)



平成4年2月、海老川・長津川の第一期改修工事完了を記念して、モニュメントの除幕式が行われました

散歩やジョギングを楽しむ人、川岸に腰を掛けて本を開く人、ベンチでは日なたぼっこをしているお年寄り。海老川・長津川は、桜の季節はもちろん、四季を通じて多くの皆さんに利用され親しまれています。

以前は、大雨のたびに周辺住民を悩ませていた海老川・長津川を、恨みの川から希望の川「へと生まれ変わらせるため、市では国や県に強く働きかけ、急ピッチで改修を進めました。

同時に、海老川に架かる13の橋を個性的な橋に架け替え、ジョギングロードを設置。また、平成元年に、建設省の「ふるさとの川モデル事業」の指定を受け、散策路(ロマンスプロムナード)やポケットパーク、自然と調和した川岸なども整備しました。今では、台風や大雨のときでも氾濫による被害はなくなり、川沿いは、市民の皆さんが集う緑とふれあいの空間になりました。

ちょうど今ごろは、緑が美しい季節です。ご家族やカップルで、また、気のあつた仲間同士で、さわやかなそよ風と心地よい日差しを浴びて歩いてみませんか。



歩くのが思わず楽しくなるロマンスプロムナード



水鳥が気持ち良さそうに憩う海老川



◀ ジョギングロードのベンチでは、日なたぼっこを楽しむ姿も見られます



ロマンスプロムナードは、保育園児のお散歩コースにもなっています



自然を生かした、親しみやすい護岸づくりの一つとして、緑化護岸ブロックが使われています



海老川には船橋地名発祥の地「海老川橋」をはじめ、13の個性的な橋が架かっています



昨年の台風17号で上流からの雨水を受けとめ、水害防止に大きな役割を果たした長津川調節池



長津川調節池は水害対策に効果を発揮するだけでなく、市民の皆さんの憩いの場にもなっています



船橋市美術連盟顧問の居関金一先生が、子どもたちに絵のアドバイス

第9回親子写生大会 新緑の中で楽しくスケッチ

4月29日みどりの日、海老川ジョギングロードで親子写生大会が行われました。これは、「'97グリーンフェアふなばし」のイベントの一つとして行われたものです。初夏を思わせる日差しの中、51人の家族連れが仲良く参加。早速、思い思いの場所でスケッチを始めました。海老川はちょうど新緑の季節。参加した皆さんは、楽しそうに絵筆を走らせながら、親子で有意義な一日を過ごしました。

海浜公園

6月22日まで 潮干狩り開催中



ゴールデンウィーク中には、約5万人の皆さんが潮干狩りを楽しみました



こんなにいっぱいおとれたよ

ぬけるような青空の下、心地よい潮風をうけての潮干狩りはいかがでしょうか。今年も6月22日まで、ふなばし海浜公園で潮干狩りが行われています。ご家族やグループで、ぜひお出かけください。

なお、潮の干満によって開催日時が異なりますので、潮干狩り情報を確認してください。

潮干狩り情報 ☎0474-37-2525

料	おとな（中学生以上）	400円
金	子ども（4歳以上）	200円
	※アサリの持ち帰りは200gにつき100円	

社殿の前にそびえる大銀杏

蔵王権現は秘仏として厨子の中。ただし説明書によれば、檜材、像高九十六センチ。製作年代は近年の後補部分も多いが、平安末期まで遡れるということだ。両脇侍が付いてこちらは鎌倉時代の作という。

雨はまだ降りやまぬ。境内の老榎、大銀杏、満目の青葉若葉から盛んに滴り落ちる雨の音に遠い昔を聴いている。（大木 勉）

新中かの文化財 御嶽神社



御嶽神社の社殿

予報では間もなく上がるようなことを云っていたが、一時的なのだろうが、雨は先刻よりよほど激しくなった。こんな雨の取材なんて初めてだね、S君。そうですわね。拜殿で雨宿りしていると、社務所の硝子戸越しに管理人さんと目が合い、こちらへどうぞと招き入れられる。熱いお茶を頂いて外の雨を眺め若葉を眺め、話を聞きながら雨を聞き、雨に打たれる若葉の音を聴いている。

この御嶽神社は旧二宮前原の鎮守。御祭神は八岐大蛇退治で有名な素戔嗚尊とする。四代將軍家綱の末期、延宝年間（一六七〇年代）に、前原新田の草分けの一人、上東野新助が江戸神田から「蔵王権現」を迎えて安置、以後はその名で知られた社だったが、明治の神仏分離の時、現在の「御嶽神社」と社名が改まった。

高齢者対応型モデル住宅が完成 お年寄りにやさしく、地震に強い



記念式典では、大橋和夫市長（中央）、田久保捷三市議会議長（右）、市民を代表して相馬花江さんがテープカットをしました

船橋市高齢者対応型
モデル住宅完成記念式典

市が全国の自治体に先駆けて建設を進めてきた、高齢者対応型モデル住宅が完成し、4月26日から一般公開されています。

この住宅は、木造2階建て4LDKで、延べ床面積は125.44平方メートル。居室内は段差が無く、車いすでも移動できる構造で、エレベーターが設置できるスペースも設けられています。また、地震などで家屋が倒壊したときに身を守るスペースとなる、「住宅内避難室」も備えています。

公開場所は、船橋駅北口天沼交差点そばの船橋総合住宅展示場で、水曜日を除く毎日ご覧になれます。



住宅内避難室に設置された避難脱出口



水曜日を除く毎日、午前10時から午後5時まで自由に見学できます



子どもたちに大人気だった乳牛の乳しぼり体験



青空に泳ぐこいのぼりの下、たくさんの家族連れが休日を楽しみました



子ども美術館野外劇場では、紙芝居や人形劇が行われました

G・Wのアンデルセン公園

97およげこいのぼり!

ゴールデンウィークの期間中、アンデルセン公園では「およげこいのぼり！」と題して多彩なイベントが開催され、多くの家族連れでにぎわいました。ワンパク王国ゾーンには、200匹の色鮮やかなこいのぼりが気持ちよさそうに泳ぎ、ちびっこ玉入れや乳牛の乳しぼり体験、人形劇などのイベントにたくさんの子どもたちが参加。元気な声を響かせながら、ワンパクぶりを発揮していました。



習志野台第一小学校の体育館で、バレーボールやバスケットボールなどを楽しみました

3月31日から4月6日まで、ドイツ・トリアー市とコブレンツ市のスポーツクラブの皆さんが船橋市を訪れました。これは、日独スポーツ少年団交流の一つとして、船橋市スポーツ少年団が1年おきに派遣や受け入れを行っているものです。ヴァルター・ヴァイラー団長以下20人の一行は、スポーツやレクリエーションなどを通じて交流を深めました。

草の根から進める 日独スポーツ少年団交流



4月4日の表敬訪問で、ヴァイラー団長と清矢守助役が記念品を交換しました

観行院の本尊が御開帳 かわいい稚児の行列も

4月12日と13日、高根町の観行院で本尊の弥勒菩薩像が公開されました。奈良時代の作と言われるこの菩薩像。姿を拝めるのは30年に1度だけとあって、大勢の皆さんが拝観に訪れました。また、御開帳の前には稚児行列も行われ、あでやかな衣装を身に着けた子どもたち119人が町内を練り歩きました。



本尊の弥勒菩薩像



稚児行列の後に行われた稚児加持。健康を願って、散杖と呼ばれる梅の木の棒で、子どもたちの額に水がつけられました

伝統行事



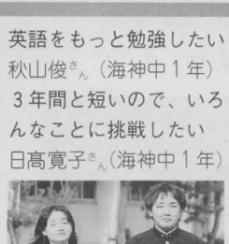
楽しむところとまじめなところを、しっかりと切り替えて生活したいです
小田佳代さん(二宮中1年)



バレーボール部の練習に毎日きちんと出たい
大木裕介さん(旭中1年)
友達を大切にしたいです
高橋理沙さん(旭中1年)



今年できたばかりのサッカー部で、レギュラー目指して頑張ります
仁科次郎さん(小室中1年)



英語をもっと勉強したい
秋山俊さん(海神中1年)
3年間と短いので、いろんなことに挑戦したい
日高寛子さん(海神中1年)



勉強と陸上部の活動をバランスよくやっていきたいです
村松愛さん(高根中1年)

テーマ
市民ひとことインタビュー
中学生になつての抱負は？

船橋ふれあい市 観光物産が勢ぞろい

皆さんからの情報をお待ちしています。

◆広報課
☎36-2015



大勢の皆さんが、船橋の美味・珍味を買い求めていました



特設ステージでは、ばか面おどりも披露されました

3月、4月の最終土・日曜日に、JR船橋駅コンコースで「船橋ふれあい市」が開かれました。これは、アサリや焼きのりなど、船橋の観光物産と特産品を多くの皆さんに知ってもらおうと行われたもので、市観光協会に所属している8社が参加。終日、船橋の味を買い求めるお客さんでにぎわっていました。次回は、6月28・29日に行われます。

ことな 第3回琴船会おさらい会 大正琴の美しい調べ



美しい音色が、会場いっぱいに広がりました



5年継続者15人に表彰状が渡されました

4月19日、宮本公民館で、琴船会の主催による大正琴のおさらい会が開かれました。第1部では、市内で活躍する8グループ40人の琴船会会員が、日ごろ練習してきた成果を発表。『峠のわが家』や『知床旅情』、『トロイカ』など12曲が演奏されました。また、第2部では参加者全員による『川は流れる』の合奏が行われ、大正琴の美しい音色が、会場いっぱいに響きわたりました。

ふなばしの民話

重右衛門はなし(古)
続・田の草取り(1)

文・村上昭三



その昔、草取りに苦勞した水田風景(写真は東町付近)

重右衛門は、印内村から大分離れた村の大層な土地持ちの家に奉公していましたが、梅雨時で、その中休みのような蒸し暑い天気の日のことでした。午前中は畑仕事をやり、昼飯を終わって、ウトウト居眠りをやっている処に、この家の旦那がやって来て、「重右衛門、まだ憩んでいるのか。早く、仕事、仕事。午後は、向こうの田圃に草が生えているだろうから、それを見てくれ」と言いつつ、田の草取りを言い付けました。重右衛門は、昼休みの途中にやって来て、急に仕事の段取りを変え、その上、急ぎ立てる旦那のやり方に、内心腹を立てました。しかし、これは顔に出さず、ゆつくりと体を起こして、田圃に出かけました。重右衛門は、田圃にやっ



すると重右衛門は、その言葉を持っていったように「へえ、旦那、草はいっぱい生えていました。でも、旦那は草を見てくれと言いました。今日は草を取らなくて、草をすずと見ていただきました」と澄ました顔で応えました。これを聞いた旦那は、昼休み時の自分の不用意な言い付け方に気が付き、また、この重右衛門のへそ曲りぶりにびびりました。それから、この仕事に呆れ果て、重右衛門の顔を、ただただ呆然と見詰めていたという事です。

来て田の中を見ました。雑草がわんさと生えていました。これを見た重右衛門は、「わあ、草がいつまで生えている、生えている」と言いながら、ボンボン手をたたいていました。そして、田圃に入って草を取らずに、傍らの林の日の陰の所に行って寝転び、「ぐー、ぐー、……」と高軒をかいて眠ってしまいました。夕方近くに家に戻って来ました。重右衛門の姿を見た旦那は、直ぐに「重右衛門、草がすく生えていた。それ、それ、きれいに取っただろうな」と言いつつ聞きました。

あいらぶ・ふなばし



船橋は街が
明るくていいですね

大城 ビルマさん
(芝山)

「来日して、初めて体験した夏の暑さと冬の寒さには参りましたね。今は、もう慣れましたけど」と、にこやかに語るビルマさんは、ペルーのリマ出身。

5年前に来日し、船橋には3年前にやってきました。現在は、同郷のご主人と3人のお子さんの5人暮らし。「ご主人と一緒に、市内の食品会社に勤めています。船橋は、街が明るくていいですね。仕事先や保育園の人たちも親切してくれるので、大変、喜ばしいです」

趣味は、お菓子作り。ペルーにいたころ、テレビや本を見て覚えたとか。ケーキが得意で、お子さんの誕生日には、子どもと一緒に作るそうです。

日本食は、刺身が苦手、カツ丼が好物。「見よう見まねで、家でも作って食べているんですが、カツ丼とちよっと違うものになっちゃってますよ」と苦笑い。

休日は、来日してすぐに知り合った友達の家で、おしゃべりするのが一番の楽しみです。

海が大好きというビルマさん。将来の夢を尋ねると、「特になんてありません。子どもたちが、きちんと勉強してくれば、それで十分です」と、優しい母の表情で話してくれました。

船橋シティコーラス



歌う花園、船橋シティコーラス。あなたも一輪の花になりませんか



ドレミの基礎からコーラスの高等技術まで勉強しています

- ①平成2年10月
- ②中央公民館
- ③毎週火曜日
(18時30分～20時30分)
- ④26人
- ⑤杉山弘美 ☎95-9068

ミスエアロビクス



現在、会員募集中。あなたも一緒に体力づくりをしませんか



ラバーバンドを使って筋力アップ

- ①昭和56年4月
- ②浜町公民館
- ③毎週水曜日
(10時～12時)
- ④16人
- ⑤柴田しげみ ☎32-9650

みんなの広場
サークル通信

- ①発足年月日
- ②活動場所
- ③活動日
- ④会員数
- ⑤連絡先

三咲書道会



あなたも一緒に書を楽しみませんか

- ①平成2年1月
- ②三咲公民館
- ③毎週金曜日
(10時～12時)
- ④26人
- ⑤山辺渥子 ☎49-2489



渥美和子先生のきめ細かい指導が好評です

高根ヨーガクラブ



のんびりした雰囲気の良いサークルです

- ①昭和63年9月
- ②新高根公民館
- ③毎週木曜日
(10時～11時30分)
- ④15人
- ⑤田中公子 ☎64-4261



体の中から美しく健康になれます

ズームアップ

まい・ふあっしょん



浅野 裕子さん
(湊町)

エンジ色のTシャツに、黒いジョーゼットのパンツで登場した浅野さん。「普段から、Tシャツにジーンズといったカジュアルな服装が多いですね。いろいろと飾るより、シンプルな方が自分らしさを表現できていると思っています」
夢は外国で生活することと、笑顔で話してくれました。

身近な題材を楽しく撮っていきたくてですね
アマチュア写真家
白石ちとせさん
(習志野台)



長女の優子さんを撮った、市写真展・会友出品作品「'96 X'mas」



「20歳・・・その後」と題した作品の前で

「現像をしていてハツとしました。娘があまりにも私に似てきたので。」フォトグループ「趣風」の写真展「楽しんで15年」の会場で、娘の優子さんを撮った作品を前に白石さんが言った。

出産で実家に帰ったとき、母親が日記がわりに短歌を作っていた。その姿を見て、自分も生きてきたあかしを子どもに残したいと、15年前に公民館で開催された「お母さんのためのカメラ教室」に参加。それが写真との出会いだった。教室が終了してすぐに、受講生で「趣風」を結成。主婦をもじったその名のとおり、主婦だけのメンバーで「技術にこだわらず、みんなが楽しく撮ってきました。それが15年も続けられた理由ですね」

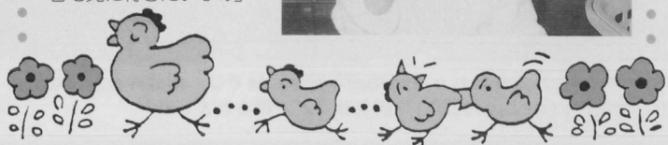
白石さんは、部屋に差し込む光線が微妙に輝くグラスや、ペランダに咲くチューリップ、そして、子どもたちなどを撮り続けている。「題材は、身近なものにこだわりたいですね。女性らしい視点でとらえた作品は、市写真展で市長賞を受賞、また、よみうり写真大賞でも入選を果たした。

写真始めたことで白石さんの世界はどんどん広がっていった。米寿を迎えたお年寄りの記念撮影をしたり、船橋写真ボランティアグループにも加わり「かなばし福祉」の編集委員も務めたりしている。また、現在は、船橋市写真連盟の副会長として、6月に市民ギャラリーで開催される「写真連盟女性会員展」の準備に忙しい毎日を送っている。「写真を始めて、多くの人と巡り合えました。それが私の財産です。これからも大切にしていきたいですね」

「娘が就職活動中なんです」と、心配する母親であり、写真を愛する女性でもある。そのどちらの姿にも負いはいなく、自然体のおたやかが伝わってきた。

ハローBaby

りょうた 岡 凌大くん
(飯山満町)
平成8年6月7日生
パパから一言
「早く凌大とサッカーの試合を見に行きたいなあ」



あとがき

市役所の1階ロビーには「美術コーナー」があります。ここでは、阪神・淡路大震災の後に、防災に関する展示を行ったり、市船橋サッカー部の日本一の軌跡を追った写真展を開催したりと、時節にあった内容の展示も行っていきます。

最近では、市制60周年を記念し、昔と今の船橋を比較した写真展「私の二枚」も行われました。市役所を訪れた皆さんは、昔の写真を見ながら話に花を咲かせるなど、懐かしい気分を味わっていただけようです。また、同時に2枚の写真を見比べることで、船橋が発展した様子を実感した方も多かったと思います。

これからも、市政の内容を市民の皆さんに、わかりやすく紹介するための展示を行っていきます。市役所を訪れたときは、ぜひお立ち寄りください。

(荒)

市制施行60周年を迎えて 様々な記念イベントを開催

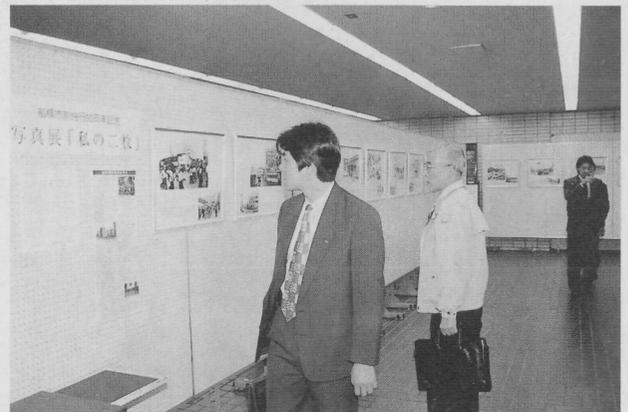


船橋市出身の敷島関(左)に盛んな声援が飛んでいました

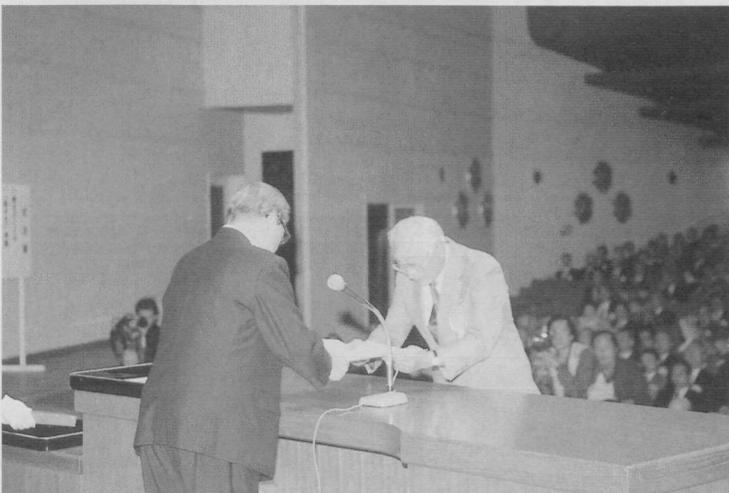
大相撲船橋場所の会場となった船橋アリーナに、6,300人もの観衆が詰めかけました



土俵の上であいさつする大橋和夫市長



市役所1階の美術コーナーで開催された写真展『私の二枚』



市民文化ホールで行われた市制60周年記念式典では、市政の発展に功労のあった市民1,002人、105団体に表彰状などが贈られました

船橋市制施行60周年を記念して、様々な催しが開催されました。

4月16日には、市民文化ホールで記念式典が行われ、市政に貢献した皆さんに、表彰状が贈られました。

また、18日には、船橋アリーナで大相撲船橋場所が開かれ、普段あまり見ることのない初切しよつきりや相撲しんく甚句など、詰めかけた相撲ファンは大喜び。横綱、大関や船橋出身の敷島関が登場すると、会場は大きな歓声に包まれました。

このほか、21日から5月9日まで、市役所1階の美術コーナーで写真展『私の二枚』も行われ、訪れた皆さんの目を楽しませていました。